

# 一般会計予算は 79億1,500万円

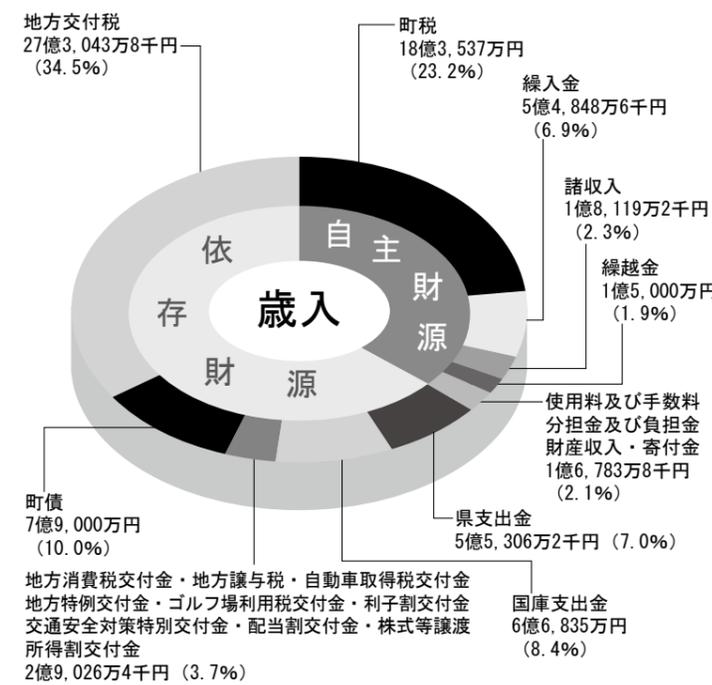
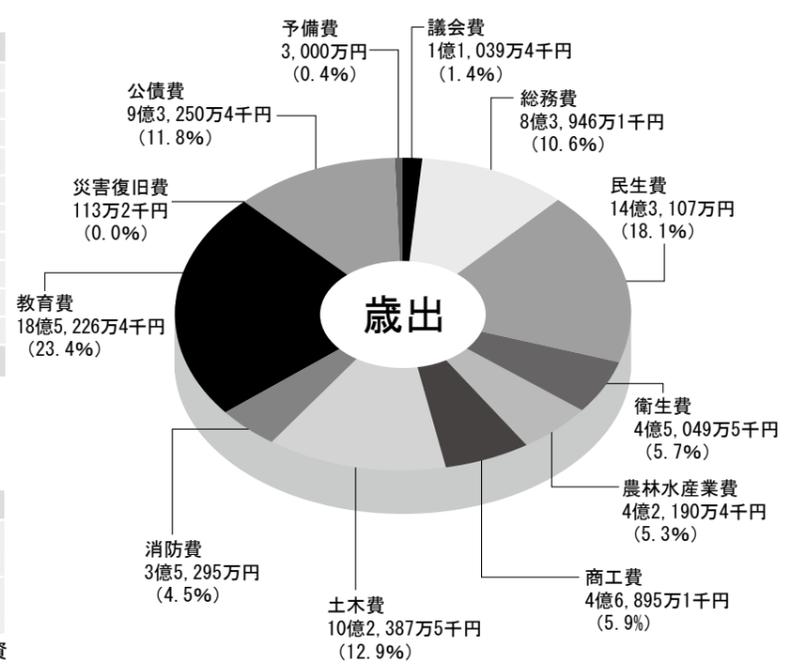
特別会計予算

会計名	予算額	対前年度比
猪苗代地区財産区	1,491万2千円	44.2%
翁島地区財産区	256万5千円	9.3%
長瀬地区財産区	1,435万2千円	5.8%
吾妻地区財産区	1,114万3千円	38.1%
国民健康保険	17億8,245万1千円	△0.3%
後期高齢者医療	1億7,174万8千円	7.1%
介護保険	14億2,569万6千円	2.4%
下水道事業	5億3,482万3千円	△6.3%
特定環境保全下水道事業	1億5,676万7千円	△1.5%
農業集落排水事業	1億5,082万9千円	△28.7%
合計	42億6,528万6千円	△5.8%

水道事業会計予算

区分	予算額	区分	予算額
収入	3億7,955万8千円 (対前年度比128.1%)	収入	4,687万7千円 (対前年度比1,762.3%)
支出	3億5,482万7千円 (対前年度比122.0%)	支出	1億5,477万7千円 (対前年度比237.2%)

※資本的収支の不足額1億790万円は、当年度損益勘定留保資金から補てんします。



町税の内訳

区分	予算額	町民1人あたり
町民税	5億7,457万2千円	36,983円
固定資産税	10億5,827万3千円	68,119円
軽自動車税	3,555万4千円	2,288円
町たばこ税	1億3,522万円	8,704円
入湯税	3,174万1千円	2,043円
町民1人あたりの町税負担額合計		118,137円

町民1人あたりの予算（一般会計） 509,462円  
 ※町民1人あたりの税額および予算額は、26年2月末現在の人口をもとに算出しています。

病院事業会計予算

区分	予算額	区分	予算額
収入	8,422万6千円 (対前年度比173.0%)	収入	536万円 (対前年度比0%)
支出	8,729万8千円 (対前年度比168.1%)	支出	5,823万8千円 (対前年度比△41.0%)

※収益的収支の不足額307万2千円および資本的収支の不足額5,287万8千円は、基金から補てんします。

## 歳入

歳入は大きく「自主財源」と「依存財源」の二つに分けられます。

## 一般会計

「自主財源」とは、町が自主的に確保することができる財源のことです。町の主要な財源の一つである町税をはじめとして、使用料、手数料、分担金、負担金や財産収入などが挙げられます。

一般会計の主要な財源の一つである町税は18億3,537万円（前年度比74.15万6千円の増）で歳入全体の23.2%を占めています（内訳は上の表のとおり）。このほか、財政調整基金などからの繰入金5億4,848万6千円（前年度比2億6,658万2千円の減）、雑収入などの諸収入が1億8,119万2千円を占めています。

町債の借入れに当たっては、交付税措置のある有利なものを選ぶなど、負担が軽減できるように努めました。国・県の負担金、補助金や地方消費税交付金など、依存財源の合計は50億2,941万4千円となり歳入全体の63.5%を占めています。

## 歳出

## 一般会計

歳出では、厳しい財政状況の中、限られた財源の効率的な活用に努めます。行財政改革の推進により事務事業を徹底的に見直し、経費の節減・合理化を進める一方、重点施策を選別して編成しました。

歳出の23.4%を占める教育費は、幼稚園、小・中学校、生涯学習やスポーツ振興などに使われる費用で、18億5,226万4千円（前年度比5億6,501万円の増）となっています。

これに続くのが、社会福祉や児童福祉などに使われる民生費です。全体の18.1%、14億3,107万円（前年度比8,601万円の増）を占めています。

その次に続くのが、町道や町営住宅の整備・管理、除雪などに使われる土木費で、全体の12.9%、予算額は10億2,387万5千円（前年度比2億9,232万2千円の減）となっています。

以下、借入金償還のための公債費が、全体の11.8%、9億3,250万4千円を占めています。

### 26年度の主な事業

- 本年度中に実施する主な事業を紹介します。
- ▽川西認定こども園整備事業 9億2,166万4千円
- ▽道の駅整備事業 6,318万3千円
- ▽猪苗代第2児童クラブ建設事業 3,636万1千円
- ▽防災行政無線更新事業 7,529万6千円